

MV-22オスプレイの厚木基地への飛来について

これまで、オスプレイの安全性については、自治体や住民に対し、丁寧かつ具体的な説明を行うこと、仮に厚木基地が使用されるのであれば、飛行計画や具体的な訓練方法等について、事前に迅速かつ正確に情報提供することなどを強く要請してきたところです。

そのような中、平成26年7月9日、防衛省(南関東防衛局)から、MV-22オスプレイ1機が、人員輸送のため、平成26年7月15日、厚木基地に立ち寄る可能性があるとの連絡がありました。

厚木基地への飛来の可能性について、情報提供はあったところですが、自治体や住民に対する丁寧かつ具体的な説明がなされたとは言えません。

そこで、国に対し次のことを改めて強く求めます。

- 1 オスプレイが厚木基地に飛来する場合は、未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを十分認識し、国の責任において、自治体や住民に対して丁寧かつ具体的な説明を行うこと。
- 2 これまで、自治体や住民が負ってきた基地負担の実情を十分認識し、これ以上の負担が生じないように、地元が納得できる対応を行うこと。

平成26年7月11日

防衛大臣 小野寺 五 典 殿

神奈川県知事	黒岩 祐治
横浜市 長	林 文子
相模原市 長	加山 俊夫
横須賀市 長	吉田 雄人
藤沢市 長	鈴木 恒夫
茅ヶ崎市 長	服部 信明
逗子市 長	平井 竜一
大和市 長	大木 哲
海老名市 長	内野 優
座間市 長	遠藤 三紀夫
綾瀬市 長	笠間 城治郎
町田市 長	石阪 丈一